

# 平成30年度 学校自己評価(教員) 報告書

専門学校 倉敷ビューティーカレッジ  
学校自己評価委員会

1. 実施日 平成31年3月11日(月)

2. 学校自己評価委員

校長 有宗 義徳  
教頭代理 神崎 千恵子  
事務主任 高見 文乃

3. 概要

- ・美容教育を通じ、社会環境の変化に積極的に向き合っ、グローバルに対応できる人材育成を目指す。
- ・そのためには、教育方針や目標を教職員全体が理解をすることが大切である。
- ・個々の評価の結果を受け止め、全員で関わり合いながら分掌上の責任を明確にし、コミュニケーションの徹底を図りながら解決に努める。

達成度	A・・・85%以上	B・・・75%以上	C・・・60%以上
	D・・・45%以上	E・・・45%未満	

(1)教育理念・目標

評価項目	
①教育理念・目的・育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか。)	A
②学校における職業教育の特色は何か。	A
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	B
④教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者等に周知されているか。	B
⑤各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対する業界のニーズに向けて方向付けられているか。	A

①課題

- ・社会経済のニーズを踏まえた具体的な学校の将来構想が必要である。
- ・教育活動の全体を通じて、美容師としての在り方についての指導法を常に研修する。

②今後の改善策

- ・保護者との連携も改善傾向にあるが、より具体的な行動が必要。

③特記事項

- ・ボリカ導入による授業改革をすすめている。

(2) 学校運営

評価項目	
①目的等に沿った運営方針が策定されているか。	B
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	B
③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか。有効に機能しているか。	B
④教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	B
⑤業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	B
⑥教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	A
⑦情報システム化等による効率化が図られているか。	B

①課題

・組織整備や意思決定の効率をより高めることが必要である。

②今後の改善策

・校内ランの整備

・さらに多くの意見を求めるとともに教員の理解と問題改善に努める。

③特記事項

・ITツールの整備・活用をし、情報を共有化し、業務の効率化を図る。

・明るい職場づくりに努めている。

(3) 教育活動

評価項目	
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	A
②教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育達成レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	A
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	A
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発など実施されているか。	A
⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか。	B
⑥関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技指導・実習等）が教育活動等に体系的に位置づけられているか。	A
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか。	A
⑧職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	A
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は、明確になっているか。	A
⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	A
⑪人材育成の目標の達成に向けて授業を行うことの要件を備えた教員を確保しているか。	C
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネージメントが行われているか。	B
⑬関連分野における先端的な知識・技能等を修得するため研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか。	B
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか。	B

①課題

・働き方改革の推進

・専門スキルが重視されるとともに職業キャリアの経験を生かせる教員の確保。

②今後の改善策

・雇用条件の改善

・教員研修の機会を多く作る。

③特記事項

・最重要授業改革でのポリカ研修実施。

・自己啓発の意欲不足。積極的に教員研修への参加を促し、各教員のスキルアップ、資質の向上を図るとともに、様々な研修機会そのものを増やすことも重要。

#### (4) 学修成果

評価項目	
①就職率の向上が図られているか。	B
②資格取得率の向上が図られているか。	B
③退学率の低減が図られているか。	B
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	B
⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。	B

##### ①課題

・美容科の企業説明会等は、手厚く計画的に実施されているが、専科の企業説明会が少ない  
・学生の状況を把握し、教員との面談を強化。

##### ②今後の改善策

・専科の企業説明会の計画。  
・入学から卒業・就職までのキャリアサポートの強化。

##### ③特記事項

#### (5) 学生支援

評価項目	
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	A
②学生相談に関する体制は整備されているか。	A
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	A
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	B
⑤課外活動に対する支援組織は整備されているか。	B
⑥学生の生活環境への支援は行われているか。	B
⑦保護者と適切に連携しているか。	B
⑧卒業生への支援体制はあるか。	B
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか。	B
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。	B

##### ①課題

・定例の同窓会役員会のみで、同窓会が十分機能しているとは言えない。  
・卒業生の情報に関して整理すること。

##### ②今後の改善策

・キャリア教育を余裕をもって受け入れられる体制を整える。  
・「人材バンク」の整備。

##### ③特記事項

・卒業生との関わり方を調査研究する。

#### (6) 教育環境

評価項目	
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	B
②学内外の実習施設、インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか。	B
③防災に対する体制は整備されているか。	B

##### ①課題

・施設・設備の老朽化と入学者数増への対応。

##### ②今後の改善策

・中長期的な観点、学生募集の観点から、緊急性を要する。  
・教室の増築を検討中である。

##### ③特記事項



(7) 学生募集

評価項目	
①学生募集活動は、適正に行われているか。	A
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	A
③学納金は妥当なものになっているか。	B

- ①課題  
・より効果的な広報手段を選択実施する。  
②今後の改善策  
・重点校へのより一層の募集活動を図る。  
③特記事項  
・学校の魅力づくりと発信をしっかりとっていく。

(8) 財務

評価項目	
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	B
②予算・収支計画は有効且つ妥当なものとなっているか。	B
③財務について関係監査が適正に行われているか。	A
④財務情報公開の体制整備はできているか。	B

- ①課題  
・財務的にはコントロールされているが、学生数の増加に努める。  
②今後の改善策  
・給与体系の再考。  
③特記事項  
・財務内容は、すでに公開されている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	A
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	B
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	A
④自己評価結果を公開しているか。	A

- ①課題  
・基準等の遵守と運営。  
②今後の改善策  
・常に問題意識を持ち、基準に沿った運営の確認をする。  
③特記事項  
・財務内容とあわせて、自己評価も公開されている。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	B
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	B
③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	B

①課題

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をより一層推進する。

②今後の改善策

・ボランティア予算の確保。

・ボランティア活動の工夫改善。

③特記事項

・社会貢献の在り方の研究をする。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・働き方改革の推進。

・教員確保が喫緊の課題である。

・学校のより一層の特色づくり。

・魅力ある授業づくり。

・学生募集のより一層の強化。

・企業ガイダンスの強化。本学園後援会との連携。

・社会のニーズに応じたコースや講座の開設。

以上、多くの課題が山積しているが、教職員はそれぞれの能力を発揮しよく頑張っており、

# 平成29年度 学校自己評価(学生) 報告書

専門学校 倉敷ビューティーカレッジ  
学校自己評価委員会

1. 実施日 平成30年3月12日(月)

2. 学校自己評価委員

校長 阿部 善一  
教頭代理 神崎 千恵子

3. 概要

- ・学校の特色はほぼ理解できているが、カリキュラムについての教員の説明が不足している。
- ・担任の面談を定期的に導入して、適切な指導を実施している。
- ・教科の指導については、講義だけにとどまらず、その教材・教具に工夫を凝らすことに努めている。
- ・インターンシップや就職指導については、専任者を定め、改善している。
- ・学生は、ほぼ学校生活に満足している。

達成度	A・・・85%以上	B・・・75%以上	C・・・60%以上
	D・・・45%以上	E・・・45%未満	

評価項目	
①教育理念や教育目標が定められているか。	A
②学校の特色として挙げられるものがあるか。	A
③美容学校として教育達成レベルや学習時間の確保が十分にできているか。	B
④学生のニーズに即応したカリキュラムになっているか。	B
⑤成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	A
⑥資格取得のための指導体制は確立しているか。	A
⑦学生の興味・関心を喚起するための授業の工夫は成されているか。	A
⑧学習の成果(美容に関する知識や技術)について進歩を実感できるか。	A
⑨教科指導は熱心か。	A
⑩担任による面談・面接は定期的に実施されているか。	A
⑪就職について、指導体制は確立しているか。	A
⑫健康診断は定期的に行っているか。	B
⑬施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	B
⑭校外実習・インターンシップ(実務実習)等について十分な教育体制を整備しているか。	A
⑮防災に対する体制は整備されているか。	A
⑯学納金は妥当なものになっているか。	A
⑰常に校内の整理整頓やエコに配慮しているか。	B
⑱個人情報に関し、その保護のための対策は取られているか。	A
⑲学生のボランティア活動を奨励・支持しているか。	B
⑳本校が学ビコレに選出されているか	A

